

技術・家庭科（家庭分野）の学習について（第2学年）

1 技術・家庭科（家庭分野）の目標

- 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境等について、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決しようとする力を養う。
- 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習計画

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none"> • 補修の必要性 • 衣服の収納・保管 • つなげよう和服の文化 • まかせて衣服の手入れ • 製作の基礎・基本 	<ul style="list-style-type: none"> • 布による作品で生活を演出 • 住まいのはたらき • 住まいの空間 • 家庭内事故への備え • 災害への備え 	<ul style="list-style-type: none"> • 家庭生活と消費 • 購入・支払いと生活情報 • 消費者被害と消費者の自立 • 持続可能な社会

3 評価の観点 評価の資料

観 点	学習活動及び評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> • 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境についての基礎的な理解と、それに係る技能が身に付ける。（定期テスト、作品の製作、実習等）
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> • 家族・家庭や地域における生活の中から家族・家庭生活・食生活について問題を見だし、課題をもって考え、解決する力を身に付ける（日頃の課題への取り組み、レポート課題への取り組み、話し合い活動、発表）
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> • 身近な生活の課題を主体的に捉え、具体的な実践を通して、課題の解決を目指す。（話し合い活動への参加、授業の取り組み姿勢、日頃の課題への取り組み、提出）